

## 付録8 NACCSセンターから発給する情報について

IP アドレス、利用者コード、識別番号、利用者パスワード、メールボックス ID、メールボックスパスワード、論理端末名、端末アクセスキー、メールアドレス、デジタル証明書は、NACCSセンターが発給・管理・運営を行う。

データ送受信処理方式により NACCS センターが発給する情報が異なる。処理方式ごとに発給する情報を、付表 8-1 に示す。

付表 8-1 処理方式ごとの発給情報

情報	インタラクティブ処理方式				メール 処理方式	WebNACCS 処理方式
	インタラクティブ	netNACCS	SMTP双方向	netAPI		
IP アドレス	○	—	○	—	○	—
利用者コード	○	○	○	○	○	○
識別番号	○	○	○	○	○	○
利用者 パスワード	○	○	○	○	○	○
メールボックス ID	—	—	—	—	○	—
メールボックス パスワード	—	—	—	—	○	—
論理端末名	○	○	○	○	—	—
端末アクセスキー	○	○	—	○	—	—
メールアドレス	—	—	○	—	—	—
デジタル証明書	—	○	—	○	—	○

発給する情報の付与単位及び用途について、付表 8-2 に示す。

付表 8-2 発給情報の用途

情報	付与単位	NACCS側の用途	利用者側の用途
IP アドレス	ルータ、利用者側パソコン、利用者側ゲートウェイコンピュータ	民間利用者用ネットワーク経路でNACCS接続を行う利用者のコンピュータを特定する	民間利用者用ネットワーク経路の接続に利用する (詳細は「2.2 プライベートIPアドレス」を参照)
利用者コード	利用者区分単位	利用者を識別する	送信電文に設定する (詳細は「付録6 各種コードについて 3.利用者コード及び識別番号等について」を参照)
識別番号	利用形態、業種等に応じて付与	利用者の利用形態、業種等を識別する	利用形態、業種等に応じた識別番号を送信電文に設定する (詳細は「付録6 各種コードについて 3.利用者コード及び識別番号等について」を参照)
利用者パスワード	利用者ID(利用者コード+識別番号)単位	利用者ID(利用者コード+識別番号)の認証を行う	利用者ID(利用者コード+識別番号)ごとに設定された利用者パスワードを送信電文に設定する  パスワードは利用者による変更も可能である (詳細は「付録6 各種コードについて 3.利用者コード及び識別番号等について」を参照)
メールボックス ID	メールボックス単位	メールボックスを識別する	メールボックスからの電文受信に利用する  利用者 ID(利用者コード+識別番号)とメールボックスが多:多の関係となり、宛先管理の設定により処理結果電文の出力先を設定できる (詳細は「5 宛先管理」及び「付録 5 受信用メールボックスの利用方法についての具体例」を参照)
メールボックスパスワード	メールボックスID単位	メールボックスのアクセス認証を行う	メールボックスからの電文受信に利用する
論理端末名	端末単位	論理端末を識別する	送信電文に設定する  利用者 ID(利用者コード+識別番号)と論理端末名が多:多の関係となり、宛先管理の設定により処理結果電文の出力先を設定できる (詳細は「5 宛先管理」を参照)
端末アクセスキー	論理端末名単位	論理端末の認証を行う	送信電文に設定する  (詳細は「7.2.3 出力情報電文(帳票用)の取得資格チェック」を参照)
メールアドレス	論理端末名単位	論理端末と紐付けて電文の送受信先を識別する	電文送受信に使用する  (詳細は「4.2.4 (6) インタラクティブ処理方式(SMTP双方向)で使用するメールアドレスについて」を参照)
デジタル証明書	論理端末名単位	クライアント認証を行う	電文送信に使用する  (詳細は「パッケージソフト操作説明書」、「WebNACCS 操作説明書」、「4.5 インタラクティブ処理方式(netAPI)」を参照)